

みらいリレーションズと協業PJ

販売・仕入れ情報を連携

需給ミスマッチ解消 システム 今秋提供

イーサポートリンク

生鮮食品流通のソリューションビジネスを展開しているイーサポートリンクは22日、小売店舗の生鮮食品販売情報をリアルタイムでデータ解析することにより、仕入れ情報と連携させる新しいシステムの協業プロジェクト(PJ)を、みらいリレーションズ(斎藤康平社長、東京都渋谷区)と4月から開始した、と発表した。今秋のサービス提供を予定している。

みらいリレーションズが保有する超高速データ解析モジュール「シナプスエン

ジン」を用いた新システムを稼働させることにより、地産地消の推進を通じて消費者に鮮度の高い生鮮品を

供給する取り組みを支援。更に、データに裏打ちされた消費者ニーズを的確につかむことで、農家の生産計画をアシストして需給のミスマッチを解消する。地域の消費者ニーズがま

すます多様化するのに伴い、スーパーなど小売事業者は従来の本部による一括・大量仕入れでなく、店舗単位の品ぞろえが求められるようになってきている。こうしたマーケットの変化を背景に両社は協業PJを発足、生鮮流通市場において新たな価値を生み出すことを目指していく。(沢田顕嗣)